

2024年度

退職自衛官 人材活用の ご案内



国防を支えた力を
地域・企業を
支える力に！



陸上自衛隊の退職の仕組み

陸上自衛隊では、任務の性格上、**組織を常に精強な状態に維持**するため、主として「**若年定年制**」及び「**任期制**」の制度を採用しております。

人生100年時代にあって、若くして退職する自衛官の退職後の生活基盤を確保することは、「国の責務」であることから、一般財団法人自衛隊援護協会と連携して再就職のための援護業務を組織的に実施しています。

また、令和5年4月1日から施行された一般職の国家公務員試験の定年年齢引き上げに伴い、医師及び音楽・警備・情報などの職務に従事する60歳定年の自衛官は、若年定年制として扱われるため、就職の援助の対象となりました。

若年定年制	<p>一般の公務員に比べ、若い年齢で退職する制度</p> <p>※ 令和5年度退職者 約4,000人</p>
任期制	<p>●2年の任期を区切って任用する制度</p> <p>●陸士の約半数が任期制で採用</p> <p>※ 令和5年度退職者 約3,000人</p>

制度	最終階級		退職年齢	退職時期
若年定年制	幹部	1佐	57歳 2024年10月以降、 58歳	退職年齢の誕生日
		2佐	56歳 2024年10月以降、 57歳	
		3佐		
	准曹	1尉	56歳	
		2尉		
		3尉		
		准尉		
		曹長		
		1曹		
		2曹		
3曹				
※ 医官、歯科医官、薬剤官、警務官、音楽職種、情報分析等の業務に従事する1佐以下の自衛官の定年年齢は60歳				
任期制	士	士長	<p>20歳代～ 30歳代半ば</p>	<p>入隊時期及び継続任用回数により異なる。 (主に3月)</p>

陸上自衛隊の職種

普通科	機甲科	野戦特科	高射特科
<p>地上戦闘の骨幹部隊として機動力、火力、近接戦闘能力を有し、作戦戦闘に重要な役割を果たします。</p> 	<p>戦車部隊、機動戦闘車部隊、水陸両用車部隊および偵察部隊があり、戦車等の優れた機動力及び装甲防護力により、敵を圧倒撃破するとともに迅速に機動します。</p> 	<p>火力戦闘部隊として大量の火力を集中して広域な地域を制圧するとともに、長距離精密火力を随時随所に指向して敵を撃破します。</p> 	<p>対空戦闘部隊として侵攻する航空機等を要撃するとともに、広範囲にわたり迅速かつ組織的な対空情報活動を行います。</p> 
情報科	航空科	施設科	通信科
<p>情報に関する専門技術や知識をもって、情報資料の収集・処理および地図・航空写真の配布を行い各部隊の情報業務を支援します。</p> 	<p>各種ヘリコプター等をもってヘリ火力戦闘、航空偵察、部隊の空中機動、物資の輸送、指揮連絡等を行い、広く地上部隊を支援します。</p> 	<p>戦闘部隊を支援するため、各種施設器材をもって、障害の構成・処理、陣地の構築、渡河等の作業を行うとともに、施設器材の整備等を行います。</p> 	<p>各種通信電子器材をもって部隊間の指揮連絡のための通信確保、電子戦の主要な部門を担当するとともに、写真・映像の撮影処理並びに通信器材等の整備を行います。</p> 
武器科	需品科	輸送科	化学科
<p>火器、車両、誘導武器、弾薬の補給・整備、不発弾の処理等を行います。</p> 	<p>糧食・燃料・需品器材や被服の補給、整備及び回収、給水・入浴・洗濯等を行います。</p> 	<p>国際平和協力活動等における民間輸送力による輸送や各種ターミナル業務等の輸送を統制するとともに、特大型車両等をもって部隊等を輸送します。</p> 	<p>各種化学器材をもって放射性物質等で汚染された地域を偵察し、汚染された人員・装備品等の除染を行います。</p> 
警務科	会計科	衛生科	音楽科
<p>犯罪の捜査、警護、道路交通統制、犯罪の予防等、部内の秩序維持に寄与します。</p> 	<p>隊員の給与の支払いや部隊の必要とする物資の調達等の会計業務を行います。</p> 	<p>患者の治療や医療施設への後送、隊員の健康管理、防疫の技術援助及び衛生資材の補給整備等を行います。</p> 	<p>音楽演奏を通じて隊員の指揮を高揚するとともに広報活動を行います。</p> 

陸上自衛隊の人材

いつ如何なる**任務も完遂**するため



武力攻撃事態対処



災害派遣



国際平和協力活動



多くの**経験・技術や知識**

厳しい任務



陸上自衛隊が保持する能力
あらゆる状況に対応する**柔軟性**・あらゆる困難を克服する**強靭性**



水害への対応



積雪地での行動



危険な環境下での行動



ロープでの降下



陸上自衛官が保持する能力
素直かつ誠実な心・**強固なチームワーク**・**専門的スキル**



規律



コミュニケーション



リーダーシップ



専門的スキル

教育訓練を通じて培ったリーダーシップ、コミュニケーション力を保持

階級に応じた教育と部隊等勤務により**必要な能力を向上**

幹部		保持する能力 リーダーシップ・企画力・マネージメント力・コミュニケーション力				
1佐以上	連隊等以上の部隊長としての指揮	連隊等以上を指揮し、部下の士気を高めて組織を牽引	大部隊運用に必要な計画策定	連隊等以上の隊務運営	戦略的な情報発信	能力向上
1尉～2佐	中隊長及び大隊長としての指揮	大隊・中隊等を指揮し、部下を指導・育成	中隊・大隊等運用に必要な計画策定	中隊・大隊等の隊務運営	部外との交渉	
3尉～2尉	小隊長としての指揮	小隊を指揮・監督し、部下を直接指導・監督	小隊等の運用に必要な計画策定	小隊等の隊力管理	担当間・部隊間調整	
幹部候補生	状況判断・決心の基礎	幹部に必要なリーダーシップの習得	計画等立案に必要な基礎知識	業務予定作成	部内外調整の発信に必要な基礎知識	
階級	能力	状況判断・決心	リーダーシップ指導力	企画・立案	マネージメント	対外発信能力 部内外調整能力
准曹		保持する能力 専門的スキル・リーダーシップ/フォロワーシップ・指導力				
准尉	准曹士の代表として部隊長の指揮を補佐	准曹士全体を育成し得る卓越した知識・技術	大部隊の指揮官を補佐	准曹士の代表として主体的に後進を育成	能力向上	
1曹～曹長	班長、小隊陸曹等としての指揮	部下隊員を直接教育し得る専門的知識・技術	中・小部隊の指揮官を補佐	職種、専門的分野について後進を指導		
3曹～2曹	組長、分隊長等としての指揮	部隊の中核として必要な専門的知識・技術	後進の指導・育成	専門的分野について後進を指導		
陸士	積極的に指揮下に入り行動	陸士として必要な知識・技術	主体的なフォロワーシップ	基礎的事項について後進に助言		
階級	能力	指揮	専門知識技術力	リーダーシップ フォロワーシップ	後進育成指導力	

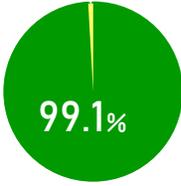
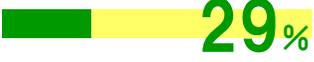
階級に応じた専門的スキルを保持

在隊間、階級に応じた職業訓練を受講することにより**必要な技能・資格を取得**

	防災・危機管理教育	技能訓練	通信教育
幹部	 防災行政の専門知識	<ul style="list-style-type: none"> ●大型特殊自動車 ●調理士 ●クレーン運転士 ●自動車整備士 ●フォークリフト運転士 ●ボイラー技士 ●電気工事士 ●危険物取扱者 ●溶接士 ●測量士(補) ●マンション管理士 ●フラワーデザイナー ●介護職員初任者研修 ●防火管理者 ●車両系建設機械運転技術者 等 	<ul style="list-style-type: none"> ●行政書士 ●電気工事士 ●秘書検定(3級) ●管理業務主任者 ●マンション管理士 ●宅地建物取引士 ●中小企業診断士 ●応用情報技術者 ●販売士 ●医療保険事務 ●消防設備士 ●簿記(2・3級) ●ファイナンシャル・プランナー ●情報処理安全確保支援士 ●旅行業務取扱主任 等
准曹			

隊員により保有技能は異なります。

陸上自衛隊の経験を企業が評価

全般	採用理由 (複数回答)
自衛官の採用に 雇用企業の99.1%が肯定的 	勤務態度が 勤勉 (真面目)  46%
	責任感 が強い  45%
	規律性 があり組織に馴染む  29%

2017年11月全国220社対象

BCP策定で活躍

1
雇用主
の
声

株式会社カナモト
代表取締役社長

金本 哲男 様



当社は、東京オリンピックが開催された1964年、北海道室蘭市で設立され、現在札幌に本社を置く東証プライム上場企業です。グループ全体で国内573拠点、従業員数3,832名、売上高は1,880億円(2022年10月期)となっております。

日本経済の発展とともに「建設機械のレンタル」をコアビジネスとして成長を続け、国内全域に営業拠点を展開する一方、2006年からは海外にも事業を展開しています。その60年近い歩みの中で、数多くの災害復旧等に貢献し、社会の要請に応えてまいりました。

また、日本各地に再整備を必要とするインフラがあり、当社グループは総力を結集して日本の安全・安心の確保に、引き続き取り組む所存です。

そして、私たちは成長を続けることも使命であり、引き続き国内営業基盤の拡充と拡大ならびに海外展開を推進し、自らの可能性を追い求めていきます。

これからも「高収益を基盤として、顧客・社員・株主に報いる、良質で強力な企業集団」というグループ企業理念を具現化させ、真のゼネラルレ

ンタルカンパニーの実現に向けて邁進してまいります。

そして、東日本大震災、熊本地震、能登半島地震等そして各地の台風・豪雨災害などに対し、これまでの経験を生かして復興支援に尽力することは私たちの重要な使命であり、この使命を達成する為に、地震などの災害被害を最小化する企業としての「防災」と、災害時の企業活動の維持又は早期回復を目指す「事業継続」が必須となります。

当社グループとしても、災害時に重要業務を継続するための事業継続計画(BCP)を策定し、大規模地震等発生時、自衛隊等の協定先に建設機械等を迅速に提供することを主眼に、防災体制の整備、防災訓練、事業所の耐震化、各種災害に対する災害対策マニュアルの策定、各計画の点検・見直しなどの防災活動の推進に努めております。

このBCPの担当者をはじめ、人事、営業、事業所の技術職等において退職自衛官を採用し、現在二十数名の方がそれぞれの分野において、自衛隊での経験・技術をもとに活躍しております。

今後も退職自衛官の皆様が益々活躍されることを期待しています。

2
自衛隊OB
の
声

株式会社カナモト
総務・人事部顧問

内田 明秀 様

(元高等工科大学副校長)



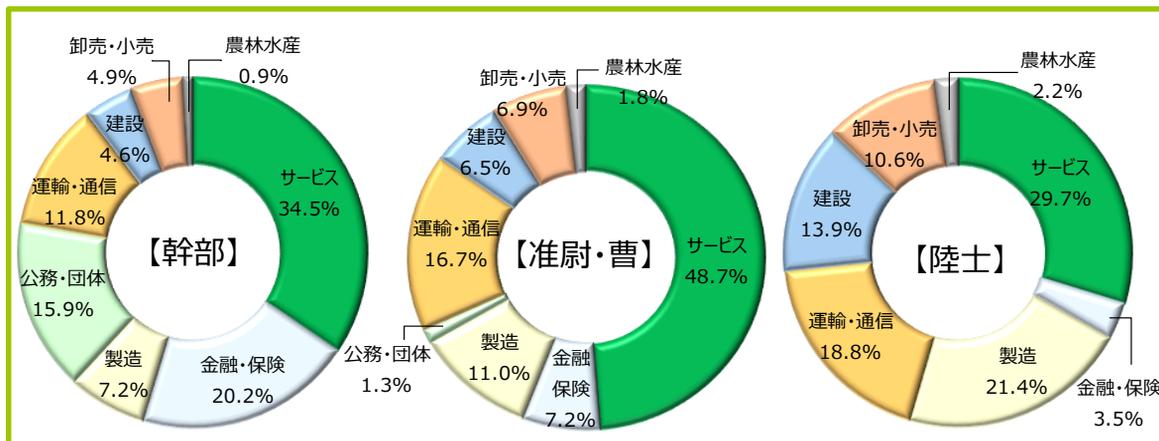
私は、令和4年12月、総務部・人事部顧問として採用され、主に防災・BCPを担当するとともに、退職自衛官の採用業務を担っております。

特にBCP業務においては、現状分析に基づく行動方針の案出、各種見積・計画の策定など、

自衛官時代に培った指揮官や司令部等幕僚としての経験・知識が大変役立っており、陸上自衛隊の教育訓練の素晴らしさを退職後も痛感しております。

今後も、この経験や考え方をともに弊社の防災活動、採用活動に邁進する所存です。

令和4年度業種別就職状況



サービス（警備・保安、販売等）、金融会社（指導員・外交員等）や建設会社（施工管理・採用業務・コンプライアンス等教育）等において幅広くご活用いただいております。陸上自衛隊を支えてきたその力を、是非企業においてご活用ください。

3 雇用主様の声

公益財団法人東京都公園協会
人事担当課長

福田みゆき様



公益財団法人東京都公園協会は、東京のまちを花と緑で豊かにするとともに、公園と水辺を安全で快適に保ち、時代に先駆けた魅力の創出に挑戦することを経営理念に掲げております。

昭和23年に都立公園の復興を目指して任意団体として発足し、昭和29年に財団法人、平成22年4月1日から公益財団法人となり、今日に至っております。

東京都公園協会は設立以来、東京の公園緑地と水辺の利活用を通じて、都民生活に安らぎとゆとりをもたらすとともに、利用者サービスの向上に努めています。また、常に時代の変化に対応し、公園緑地と水辺の防災機能の発揮や地域連携の促進、

多面的な活用に取り組む等の事業展開を図っております。

当協会では、退職自衛官の方に、公園の管理事務所、公園に付帯する駐車場、都立霊園などで利用者サービスの業務やお問い合わせ対応などに従事していただいております。自衛隊でのご経験を活かした、誠実で勤勉な仕事ぶりに感銘を受けています。同僚からの信頼も厚く、良い職場づくりにご貢献いただいております。

今後も、退職自衛官の皆様とともに、東京の公園や水辺の魅力向上に向けて歩んでいきたいと考えています。皆様が私たちと共に活躍されることを期待しています。

4 自衛隊OBの声

公益財団法人東京都公園協会

加藤美穂子様
(元准陸尉)



私は定年後、公益財団法人東京都公園協会公園事業部霊園課貸付係に勤務しております。

社会人になってから自衛隊しか知らない私にとっては不安な船出でしたが、元自衛官ということ誇りに、何事にも積極的に、誠実に、そして向上心を持って勤務しております。

覚えることが多く、スムーズにいかないこともたくさんありますが、霊園課の皆さんに支えていただいております。

健康第一!まだまだ社会に貢献していきたいと考えております。

上級曹長制度とは

陸上自衛隊では、平成26年3月より上級曹長制度を開始致しました。

本制度の開始により、准陸尉、陸曹、陸士（以下、「准曹士」という。）の最上位職である『最先任上級曹長』は、部隊等の指揮官を直接補佐する立場として、**指揮官の企図を組織の准曹士に徹底**するとともに、准曹士の意見等を指揮官に伝え、**指揮官を効果的に補佐**する重要な役割を担います。

最先任上級曹長が持つ力

① 強いリーダーシップと献身的なフォロワーシップ

- 数千、数万という准曹士の代表としての強いリーダーシップ
- 准曹の長として指揮官（上司）を支える献身的なフォロワーシップ

② 自ら考え、自ら行動する力

- 指揮官（上司）の考えを理解する論理的思考力
- 指揮官（上司）の考えに基づき、自ら行うべき事項を考えて行動する能力

③ 深い愛情による傾聴力と人間的魅力（人脈）

- 隊員の公私を問わない多様な悩みに、真剣に向き合ってきた傾聴力
- 高級幹部を直接支え、また、隊員・地域に密着した勤務を通じて備わった人間的魅力（人脈）

企業で活用するメリット



5 雇用者様の声

三和シャッター工業株式会社
ソリューション事業本部
人事開発グループリーダー

丸茂 直樹 様



弊社は、『安全・安心・快適を提供して社会に貢献する』を使命として、創業67年余りにわたりシャッター、ドアをはじめとする開口部商品、間仕切、エントランス等を中心とした建築用建材を通じて、お客様と密着した地域No.1の建材メーカーを目指しております。

主力商品は建物開口部からの侵入盗に対応する「防犯商品」、火災時に火・煙のまわりを止める「防火防煙商品」、都市型水害の防止策として出入り口を水から守る「防水商品」等があり、人々の暮らしを支える企業としてお客様に満足いただけるよう日々邁進しております。

あまり知られておりませんが、災害発生時は弊社もフル稼働でお客様の支援活動を行っております。台風等の災害時はインフラが整備される前から、安全確保を行いながら真っ先に現場へ向かい個人様住宅の倉庫・車庫、テナント様の出入り口、倉庫業者様の倉庫の開口部の確保、防犯のためのシャッター

の修理を最優先で行います。

まさしく災害時に対応されている予備自衛官に共通する任務を会社創業以来続けている企業です。

弊社の使命を通じたやりがいは、国民の平和と安心に一身をささげる自衛隊と通じる部分があると感じています。

2015年から多くの任期制自衛官OBが正社員として全国各地（北海道～沖縄）で楽しく生き活きと活躍されています。（2023年度 7名入社）

また、弊社の活動に賛同を頂き元陸自最先任上級曹長も2022年2月に入社、任期制自衛官OBの安心感も増して採用活動にも厚みが出てきました。

弊社は自衛隊で培ったチームワークの経験が活かせる企業です。

将来的には技術のコア・指導者となる人材として活躍して頂きたい任期制自衛官の採用に、全国の三和シャッター工業で協力させていただきますので宜しくお願い致します。

6 自衛隊OBの声

三和シャッター工業株式会社
人材開発グループ 担当部長

根本 和男 様

(元陸上自衛隊最先任上級曹長)



私は、全国自衛隊新卒者を対象として施工技能員のリクルート活動及び首都圏における施工技術者への安全指導を担当しています。

企業において有用な人材の確保は業種を問わず喫緊の課題です。それに関連し、若い世代への技術継承も企業の抱える大きな問題の1つとなっています。有能な自衛隊新卒者が技術継承者として知識・技術を伝承することは、社会へ安全、安心、快適をとどけ、引き続き国を支える力になると思います。技術を伴うプロフェッショナルな職業は自衛隊新卒者に向いているのではないのでしょうか。

三和シャッター工業株式会社では自衛隊新卒専用

の3年間育成プログラムを整備し、初心者でも安心して知識・技術を身につけられる環境を整えました。また、お世話になった自衛隊とのつながりを大切に、原隊への挨拶訪問を奨励していますので、送り出した部隊、援護担当者の方にも安心いただけると思います。

最先任上級曹長は人材の育成、安全管理等徹底を図るため、全国に独自のネットワークを持ち、互いに情報連携を図りながらPDCAしています。

最先任上級曹長として得た人脈、経験を活かし、これからも考働力を持って社会（会社）貢献を実現していきます。

師旅団等以上の最先任上級曹長は、全国に72コポスト(令和5年度現在)あり、2～3年周期で交代するため、最先任上級曹長を経験して退職する者は、年間20名程度と、希少な人材です。

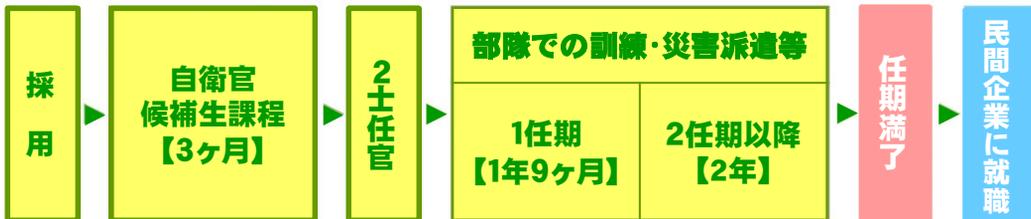
自衛隊新卒（任期制自衛官）

企業の
皆様へ

任期制自衛官は、中途退職ではありません。
そのような誤解が生じないように、**任期制自衛官を修了して民間企業に就職する者を「自衛隊新卒」と呼ぶことにしました。**
「自衛隊新卒」は、既に**社会人としての資質を保持**しており、**企業においても即戦力として活躍**することができます。

自衛隊新卒（任期制自衛官）の概要

採用から退職までの流れ（一例）



社会人としての基本的な素養を保持

自衛隊新卒は、各種教育や厳しい訓練を通じて、**規律・責任感、実行力、チームワーク**等の社会人としての基本的な素養を保持

部隊の任務遂行のため、能力を高める必要性

段階的かつ体系的な教育訓練

部隊や学校等において階級や職務に応じた教育訓練



自衛官として必要な資質、知識及び技能を修得

規律・責任感

実行力

チームワーク

7

雇用主様の声

アマゾンジャパン合同会社
Area Manager

伊藤 将 様



Amazonは多様性を歓迎し、それを組織文化の中心に位置づけています。多くの異なるバックグラウンドや視点が集まることで、新しいアイデアやアプローチが生まれ、成長を促進します。弊社は異なる経験や視点を尊重し、それを積極的に活用して、より創造的で効果的な方法で業務を遂行しています。

シフトアシスタントのポジションでは、個人のユニークな経験やスキルを評価し、それを活かす機会を提供しています。弊社は単なる仕事ではなく、キャリアの成長の場と考え、従業員が自身の専門知識を発展させ、新たなスキルを習得する手助けを行います。

Amazonでの仕事は挑戦的で刺激的なものであり、

異なるバックグラウンドを持つ個人が集まり、チームとして協力することで、目標の達成に向けた革新的な方法を見つける場です。

令和5年4月に当社に入社した筒井さんは、明るく礼儀正しく、卓越したコミュニケーションスキルを持っています。入社後も、協調性と柔軟性に溢れた姿勢が、周りのメンバーからの信頼をすぐに築いていきました。日々の業務においても新しいことを学ぶことへの情熱があり、常にスキル向上に取り組んでいます。

また、自身のPCスキルを活かし、現場の改善とオペレーションの効率化に貢献しており、即戦力としての役割を果たしています。

8

自衛隊OBの声

アマゾンジャパン合同会社
Shift Assistant

筒井 紀帆 様
(元陸士長)



私は令和5年4月に入社をし、現在シフトアシスタントとしてAmazonの配送拠点で勤務をしています。勤務している配送拠点（デリバリーステーション）はお客様に届く最後の場所です。

倉庫ではではたくさんの方の力を借りて多くの荷物を仕分けております。主な業務内容は、お客様の荷物を、決められた配送エリアに仕分けるためのプランを立て、誰がどの仕分け作業を実施するの

かを決定し、配送および仕分けに問題が生じた場合は、その問題に対処することです。

また、安全管理がしっかりと行われているのかを管理する業務をしております。

現在は職場の方々にとっても恵まれており、業務をする上で不安に思うこともありますが、周りのサポートもあるため、充実した毎日を過ごしております。

各種職業訓練を実施

任期制隊員のライフプラン	●自己分析 ●ライフプラン ●職業選択・資格取得等に関する知識
技能訓練	●大型特殊自動車 ●クレーン運転士 ●フォークリフト運転士 ●介護職員初任者研修 ●公務員受験対策講座 ●危険物取扱者 ●自動車整備士 ●溶接士 ●電気工事士 ●測量士（補） ●調理士 ●マンション管理士 ●ボイラー技士 ●防火管理者 ●フラワーデザイナー ●車両系建設機械運転技術者 等
通信教育	●行政書士 ●秘書検定（3級） ●ビジネス実務法務検定 ●管理業務主任者 ●マンション管理士 ●宅地建物取引士 ●中小企業診断士 ●応用情報技術者 ●旅行業務取扱主任 ●医療保険事務 ●消防設備士 ●簿記（2・3級） ●販売士 ●ファイナンシャル・プランナー ●公務員受験対策講座 ●情報処理安全確保支援士 ●大学進学支援 等
就職補導教育	●社会労働情勢 ●就職活動の進め方 ●職業選択に必要な知識 ●ビジネスマナー 等

防衛省

〒162-8801 新宿区市谷本村町5-1 TEL.03-3268-3111(代表)

■人事教育局 人材育成課 援護企画室 内線 20690~20691

■陸上幕僚監部 人事教育部 募集・援護課 内線 40314

■海上幕僚監部 人事教育部 援護業務課 内線 51292

■航空幕僚監部 人事教育部 募集・援護課 内線 60324

陸上自衛隊

■北部方面総監部 援護業務課
〒064-8510 札幌市中央区南26条西10丁目 TEL.011-511-7116 / 内線2420

■東北方面総監部 援護業務課
〒983-8580 仙台市宮城野区南目館1-1 TEL.022-231-1111 / 内線2268

■東部方面総監部 援護業務課
〒178-8501 練馬区大泉学園町 TEL.048-460-1711 / 内線2580

■中部方面総監部 援護業務課
〒664-0012 伊丹市緑ヶ丘7-1-1 TEL.072-782-0001 / 内線2330

■西部方面総監部 援護業務課
〒862-0901 熊本市東区東町1-1-1 TEL.096-368-5111 / 内線2328

(一財)自衛隊援護協会

■本 部
〒162-0808 新宿区天神町6Mビル5階 TEL.03-5227-5400

退職自衛官無料職業紹介所 一厚生労働大臣認可一

■札幌支部
〒060-0002 札幌市中央区北2条西3-1 TEL.011-222-4888

■仙台支部
〒980-0014 仙台市青葉区本町1-3-9 TEL.022-227-2610

■東京支部
〒162-0808 新宿区天神町6 Mビル4階 TEL.03-5227-5527

■名古屋支部
〒450-0002 名古屋市中村区名駅5-20-6 TEL.052-541-0334

■大阪支部
〒540-0026 大阪市中央区内本町1-2-6 TEL.06-6946-7638

■広島支部
〒730-0014 広島市中区上織町2-43 TEL.082-223-6900

■福岡支部
〒812-0027 福岡市博多区下川端町1-3 TEL.092-271-2462

【詐欺まがいの振り込み依頼へのご注意】

退職自衛官の再就職を斡旋すると称し、登録料という名目で振り込みを依頼する詐欺まがいの電話や、インターネットサイト等への自衛隊向け有料求人広告の勧誘があるとの連絡が寄せられることがございます。退職自衛官に係る職業紹介事業は、一般財団法人自衛隊援護協会が厚生労働大臣と国土交通大臣の許可を得て、**無料**で行っております。また1都3県(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)及び愛知県における、任期制退職予定自衛官を対象とする職業紹介事業は、民間の有料職業紹介事業者による業務委託しておりますが、同事業者が求人企業様から**紹介手数料等を求めることはありません**。ご不明な点は、下記までお問い合わせください。

自衛隊地方協力本部(援護課)

地本名	郵便番号	住 所	電話番号
札幌	060-8542	札幌市中央区北4条西15丁目1番地	011-631-5473
函館	042-0934	函館市広野町6-25	0138-53-6241
旭川	070-0902	旭川市春光町国有無番地	0166-51-6055
帯広	080-0024	帯広市西14条南14丁目4番地	0155-27-0822
青森	030-0861	青森市長島1丁目3-5 青森第2合同庁舎2階	017-776-1594
岩手	020-0023	盛岡市内丸7-25 盛岡合同庁舎2階	019-623-3236
宮城	983-0842	仙台市宮城野区五輪1-3-15 仙台第3合同庁舎	022-295-2613
秋田	010-0951	秋田市山王4-3-34	018-823-5405
山形	990-0041	山形市緑町1-5-48 山形地方合同庁舎	023-622-0712
福島	960-8112	福島市花園町5-46 福島第二地方合同庁舎2階	024-531-2351
茨城	310-0061	水戸市北見町1-11 水戸地方合同庁舎3階・4階	029-231-3315
栃木	320-0043	宇都宮市桜5-1-13 宇都宮地方合同庁舎	028-634-3385
群馬	371-0805	前橋市南町3-64-12	027-221-4471
埼玉	330-0061	さいたま市浦和区常盤4-11-15 浦和合同庁舎3階	048-831-6045
千葉	263-0021	千葉市稲毛区轟町1-1-17	043-251-7151
東京	162-8850	新宿区市谷本村町10番1号	03-3269-0713
神奈川	231-0023	横浜市中区山下町253-2	045-662-9497
新潟	950-0954	新潟市中央区美咲町1-1-1 新潟美咲合同庁舎1号館7階	025-285-0515
山梨	400-0031	甲府市丸の内1-1-18 甲府合同庁舎	055-253-1591
長野	380-0846	長野市旭町1108 長野第2合同庁舎	026-233-2108
静岡	420-0821	静岡市葵区袖木366	054-261-3151
富山	930-0856	富山市牛島新町6-24	076-441-3271
石川	921-8506	金沢市新神田4-3-10 金沢新神田合同庁舎3階	076-291-6250
福井	910-0019	福井市春山1-1-54 福井春山合同庁舎10階	0776-23-1910
岐阜	502-0817	岐阜市長良福光2675-3	058-232-3127
愛知	454-0003	名古屋市中川区松重町3-41	052-331-6266
三重	514-0003	津市桜橋1-91	059-225-0531
滋賀	520-0044	大津市京町3-1-1 大津びわ湖合同庁舎5階	077-524-6446
京都	604-8482	京都市中京区西ノ京笠殿町38 京都地方合同庁舎3階	075-803-0820
大阪	540-0008	大阪府中央区大手前4-1-67 大阪合同庁舎2号館3階	06-6942-0544
兵庫	651-0073	神戸市中央区脇浜海岸通1-4-3 神戸防災合同庁舎4階	078-261-9779
奈良	630-8301	奈良市高畑町552 奈良第2地方合同庁舎1階	0742-23-7001
和歌山	640-8287	和歌山市築港1-14-6	073-422-5116
鳥取	680-0845	鳥取市富安2-89-4 鳥取第1地方合同庁舎6階	0857-23-2251
島根	690-0841	松江市向島町134-10 松江地方合同庁舎4階	0852-21-0015
岡山	700-8517	岡山市北区下石井1-4-1 岡山第2合同庁舎2階	086-226-0361
広島	730-0012	広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎4号館6階	082-221-2959
山口	753-0092	山口市八幡馬場814	083-922-2325
徳島	770-0941	徳島市万代町3-5 徳島第2地方合同庁舎5階	088-623-2220
香川	760-0019	高松市サンポート3番33号 高松サンポート合同庁舎南館2階	087-823-9206
愛媛	790-0003	松山市三番町8-352-1	089-941-8381
高知	780-0061	高知市栄田町2-2-10 高知よさこい咲都合同庁舎8階	088-822-6128
福岡	812-0878	福岡市博多区竹丘町1-12	092-584-1881
佐賀	840-0047	佐賀市与賀町2-18	0952-24-2291
長崎	850-0862	長崎市出島町2-25 防衛省合同庁舎	095-826-8846
大分	870-0016	大分市新川町2-1-36 大分合同庁舎5階	097-536-6271
熊本	860-0047	熊本市西区春日2-10-1 熊本地方合同庁舎B棟3階	096-297-2052
宮崎	880-0901	宮崎市東大淀2-1-39	0985-53-2643
鹿児島	890-8541	鹿児島市東郡元町4-1 鹿児島第2地方合同庁舎	099-253-8920
沖縄	900-0016	那覇市前島3-24-3-1	098-866-5457

Memo

陸上自衛隊ホームページ【退職自衛官雇用ガイド】

▼詳しくはこちらから
<https://www.mod.go.jp/gsd/retire/>

退職自衛官

検索

この他、それぞれの自衛隊地方協力本部のホームページも開設されております。



▼パンフレットに関する問い合わせ 防衛省陸上幕僚監部人事教育部募集・援護課

〒162-8802 東京都新宿区市谷本村町5-1
TEL. 03-3268-3111(内線40314)